

# 平成29年度 町政執行方針



3月9日から開催された町議会第1回定例会において、岩村町長が、平成29年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

平成29年第1回町議会定例会の開会にあたり、私の町政執行にあたっての方針と平成29年度予算概要について申し上げます。

早いもので、私が町長に就任してから3年を経過し、残す任期も7か月となりました。

この間、任期のスタートにあたって町民の皆さまに訴えてまいりました「将来にわたって地域住民が夢と希望をもって、安心して暮らせるまち」づくりのため、一次産業の振興や企業誘致などによる雇用の場の確保のために、自らがトップセールスマンとなり、国内外に八雲町の情報を発信してまいりました。昨今は、その成果が少しずつ見え始め、さらに前に進むべく勇気となっております。今後においても、ふるさと八雲町への情熱をもって20年、30年先の未来を自らの手で切り開くべく努力を続けてまいります。

す。

地方創生が叫ばれる中で、人口減少や少子高齢化などを改善し、地域活性化につながる策は容易ではありませんが、住民と行政がより連携し、創意工夫によって未来への責任を果たしてまいります。

中長期的な八雲町の目指す姿を明らかにし、総合的かつ計画的に行政運営を行うための「第2期八雲町総合計画」の策定に向け、平成28年度と29年度の2か年で作業を進めております。住民や各種団体からの貴重なご意見をいただきながら、平成29年度中の完成に向け取り組んでまいります。

ふるさと応援寄附金奨励事業は、前年度と比べ件数、金額とも大幅に伸びております。今後においても、返礼品によって地域の活性化につながるよう工夫するとともに、寄附者の思いを具現化するた

め指定された事業を実施することにより、さらなる寄附金の増額に努めてまいります。

昨年3月に、北海道新幹線、新青森―新函館北斗間が開業し、東北・関東圏からの観光客は順調に推移し、道南にも開業効果が顕著に表れており、この機を地域経済の活性化に積極的につながる努力をしてまいります。

また、将来の札幌延伸に向け、新幹線新八雲駅周辺の整備方針等を検討するため、平成29年度と30年度の2か年で「新駅周辺整備基本計画策定業務」を進めることにしております。

国立病院機構八雲病院と北海道八雲養護学校は、平成32年度までに移転することが決定されており、その跡地の利活用についても平成29年度から検討を始めてまいります。

町内会や防犯街路灯管理組合などが所有・管理しておりました防犯街路灯については、LED化にかかる費用を助成して平成28年度において設置を完了し、「明るく住みよい 安全なまちづくり」に大きく貢献しております。平成29年度においては、町が管理している街路灯について

LED化を進め、省エネと長寿命化により維持管理経費の削減を図ることとしております。

住み慣れた地域で安心して生活するためには、医療の充実が何よりも重要であります。八雲総合病院は中央棟の改築も終わり、日本館棟の解体、南棟、北棟の内部改修と外構整備の完成をまって、平成29年5月のグランドオープンを予定しております。病院経営はまだまだ厳しい状況にあります。病院職員一丸となって改善に取り組む、北渡島松山の地域センター病院として地域住民の期待にしっかりと応えるべく最善の努力をしてまいります。

熊石国保病院は、地域住民はもとより近隣地域からも信頼される医療機関として、今後においても地域医療の充実に向けてまいります。

八雲町のまちづくりは町民憲章を基本理念とし、テーマは「道南北部の中心都市にふさわしいまちづくり」「人口と雇用が維持されにぎわいのあるまちづくり」「町民と行政が支えあう協働のまちづくり」であります。